

メンタルヘルスケア体制構築モデルで実現できること

モデルの構成

奉行Edge 勤怠管理クラウド
奉行Edge メンタルヘルスケアクラウド

01 勤務状況から対象者を自動検知 いつでもセルフチェックできる

- 年に何回でもセルフチェックできる
- 未受検者に促進メールを自動通知
- 日本語・英語で受検と診断結果ができる

ポイント
受検状況のチェックと案内を自動化することで、手間なく対象者へ受検を徹底できます



02 Webからの面接申込や自己学習でセルフケアを実現

- 面接申込と結果開示同意を取得できる
- 地域の面接機関を利用できる*
- 改善実績があるセルフケア学習を実施できる

*別途医師面接契約が必要となります

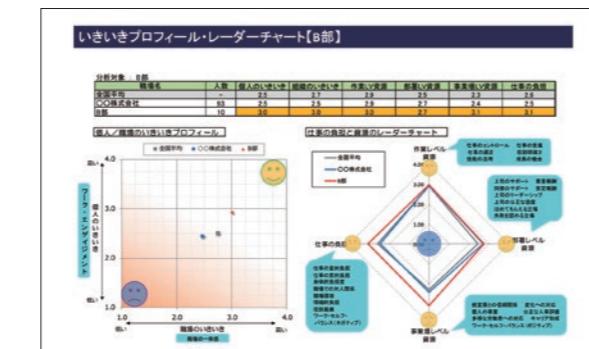
ポイント
時間や場所を問わず学習できるため、全従業員がストレスへの抵抗力を習得できます



03 すべての企業がカンタンに部門のストレス要因を把握

- 実施者の組織分析レポートを確認するだけ
- 80問の受検結果から組織の長所・短所を把握
- 様々な平均値と比較した傾向分析ができる

ポイント
過去の受検データを取り扱うため、経年での傾向分析もできます



お客様無料
ご相談窓口 **0120-121-250** 10:00~12:00 / 13:00~17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休業日を除く)

先導技術で本拠を据え
株式会社 オービックビジネスコンサルタント
URL <https://www.abc.co.jp>

東京 〒163-0032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オーツタワー TEL.03(3342)1880(代) FAX.03(3342)1874
(札幌) 〒060-0003 札幌市中央区北二条西4-1-1 日本生命札幌ビル10F TEL.011(221)8850(代) FAX.011(221)7310
(仙台) 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー20F TEL.022(215)7550(代) FAX.022(215)7558
(東京) 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-9-6 大宮セタービル7F TEL.049(657)3428(代) FAX.048(645)2424
(横浜) 〒220-0011 横浜市西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング15F TEL.045(227)6470(代) FAX.045(227)6440
(静岡) 〒420-0857 静岡市葵区藤原町11-3エセセルワード静岡ビル5F TEL.054(254)5966(代) FAX.054(254)5933
(金沢) 〒920-0852 金沢市本町1-5-2 リツアーレ5F TEL.076(265)5411(代) FAX.076(265)7068
(名古屋) 〒450-6325 名古屋市中区名駅1-1-1 JPタワー名古屋25F TEL.052(589)8930(代) FAX.052(589)8939
(大阪) 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F TEL.06(6367)1101(代) FAX.06(6367)1102
(広島) 〒730-0032 広島市中区町町2-27 NBF広島立町ビル4F TEL.082(544)2430(代) FAX.082(541)2431
(福岡) 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町2-1 博多祇園M-SQUARE 9F TEL.092(263)6091(代) FAX.092(263)6099

販売代理店

メンタルヘルスケアを
始めたい
お客様向け

メンタル
ヘルスケアの
第一歩

奉行処方箋モデル

全ての企業でメンタルヘルスケアの体制が構築できる
**メンタルヘルスケア
体制構築モデル**

処方箋No.

8

お客様に当てはまる【症状】はありませんか？

うつや休職など
メンタル不調者が
発生している



従業員のストレス状態を
把握できていない



一つでも症状があれば
【処方箋モデル】を
ご活用ください！

従業員のストレスを
低減したいが、具体的な
方法がわからない



ストレスが高い部門を
把握できていない



労働訴訟を聞くと
自社にも当てはまらない
か不安である



モデルで ↓ 解決 !!

効能

- ▶ ストレスの悪化を自ずと抑えられる
- ▶ 高ストレス者が自分で対処できる
- ▶ ストレスの高い部門と職場全体を改善できる

モデルが実現する

症状に効果的な3つのポイント



01 高ストレス予備軍
の発見

ストレスの高まりを自覚して
早期に対処できます。

02 高ストレスに対処
できる手段の提供

自身でストレスを
ケアできるようになります。

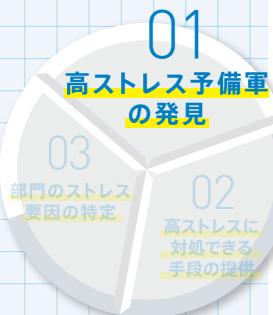
03 部門のストレス
要因の特定

ストレスを抱えない
職場環境へ改善されます。

なぜ3つのポイントが症状に効くのか？

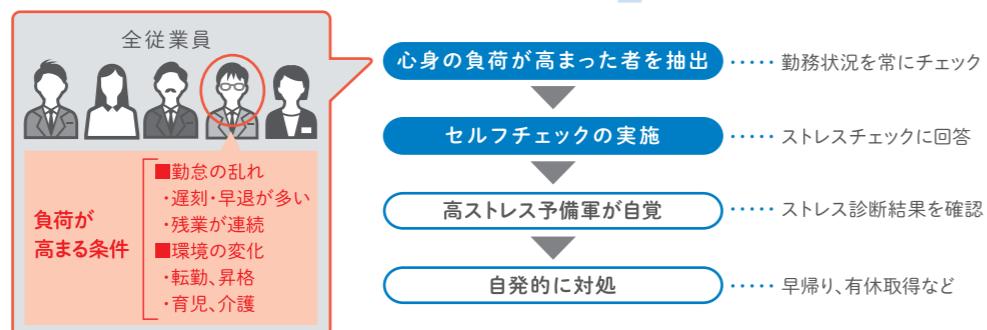
なぜ3つのポイントが症状に効くのか？

効果の理由を徹底解説



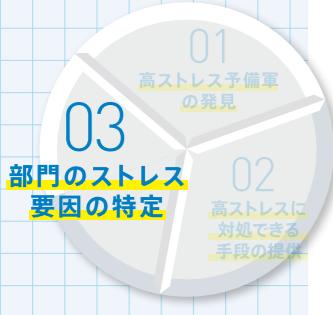
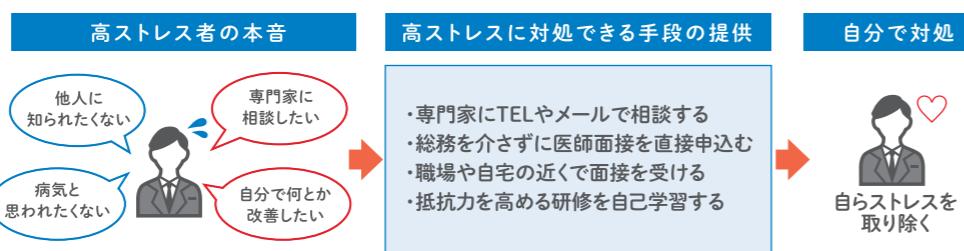
セルフチェックで本人がストレスに気づき対処できる

リスク予防には、ストレスが高まる前の対処が重要です。心身に負荷がかかった時点で対象者にセルフチェックを実施することで、ストレスの高まりに気づき自発的に対処ができます。



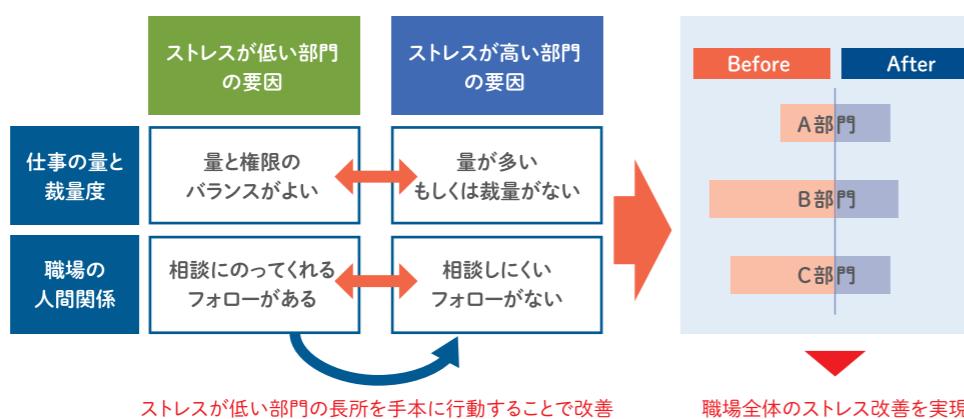
自己学習や専門家への相談を本人が選択してケアできる

リスク予防には、消極的な高ストレス者が自分でケアに取り組むことが重要です。人を介さずに本人が直接利用できる様々な手段を提供することで、能動的に原因を取り除けるようになります。



部門のストレス低減が職場環境の改善につながる

リスク予防には、職場の課題として取り組むことが必要です。ストレスが高い部署の要因を特定することで個人ではできない課題解決ができ、職場全体がストレスを抱えない環境へ変化します。



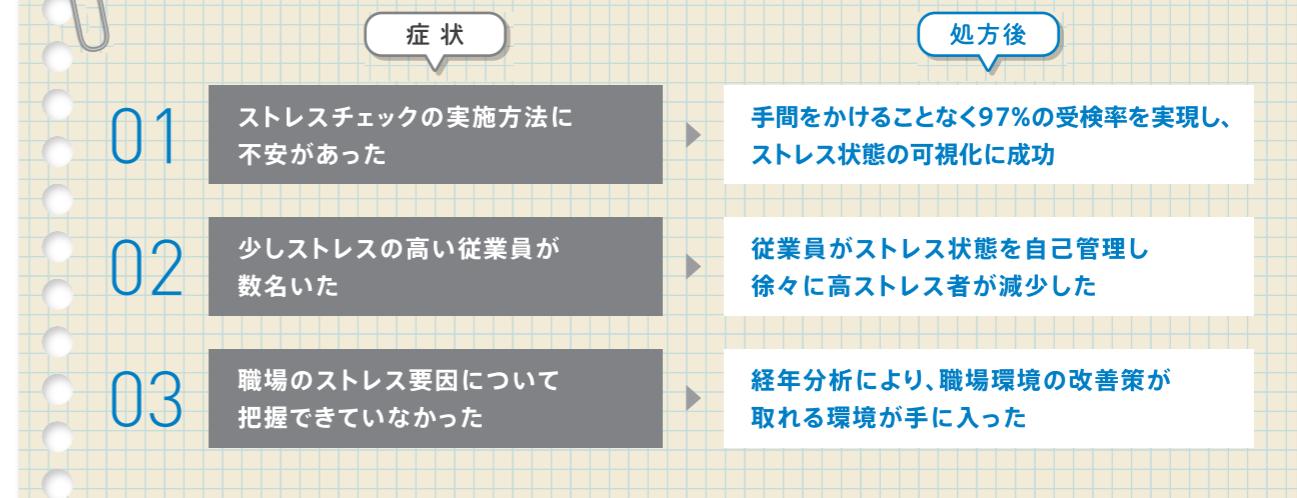
メンタルヘルスケア体制構築モデル 改善事例



漠然としていたストレス状況を可視化 従業員自身がストレス傾向を自己管理し、職場環境の改善に成功

ソニーベイメントサービス株式会社

■業種:決済サービス業 ■従業員:142名(2019年5月31日現在)



症状に効いたポイント

01 クラウドで時間や場所を問わずストレスチェック運用をスムーズに行えるように

当社の場合、福岡市に九州支社があるため、効率的にストレスチェックを実施する仕組みが必要でした。「メンタルヘルスケア体制構築モデル」によって、場所や時間を問わずストレスチェックを簡単に実施できたほか、外部実施者との連携も容易になりました。また、受検勧奨を自動化できたことで、受検率は97%にまで上がりました。ストレスチェックは、従業員に受検してもらうことではじめてストレス結果を分析できるため、ITが苦手な人でも使いやすい仕組みになっていることは受検率向上に大きくつながっています。



02 ストレス状態が数値化されたことで適切な自己管理を実現し、ストレス状況が改善

従業員に対しストレスチェックを行ったところ、ストレスが高い従業員が数名いました。しかし、ストレスチェックを経年続けていくことで、徐々にストレスが減少していく、確かな効果を得ることができました。これはストレスチェックによって、今まで何となく感じていたストレスの状態が数値化されたことで、客観的にストレスを把握し、自己管理できるようになったからだと感じています。また、一人一人が自己管理していくことで、職場全体のストレスの減少にもつながりました。

03 定性的なものがストレスに影響を及ぼしていることがわかるように

3回行ったストレスチェックの結果を経年分析すると、人事異動によってストレスの状態が変化していることがわかり、仕事の量といった定量的なものだけが、ストレスの状態に影響を与えていたわけではないことが示唆されました。職場の人間関係のようなものが、どのようにストレスの状態に影響を及ぼしているか可視化できました。この情報をもとに、従業員がベストなパフォーマンスを発揮できる職場環境はどのようなものなのか、具体的に検討していくたいと考えています。